

わくわく



モーっと大きくなるぞ!
(下小塚区・齊藤さん)

こんなことが議論されました…〈12月会議〉	2
町政を問う7人の提言……………〈一般質問〉	5
1年間の活動を振り返る……………〈常任委員会中間報告〉	13
かがやく町民を紹介……………〈キラキラVoice〉	16

令和3年

謹んで新年のお慶びを申し上げます

涌谷町議会 議長 後藤 洋一



町民の皆さまには、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

また、日頃より議会運営に対し、ご理解、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、今年は丑年でありますが、牛は古くは農作業や物を運ぶ労働力として、また現在においても我々の食生活に欠かせない非常に重要な役割を担う動物であります。

十二支の中では最も歩みが遅いため、本年は先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切だと言われています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「三つの密の回避」が求められる1年間となり、議会報告会や視察研修が中止になるなど、議会の活動にも大きな影響がありました。

の対策が求められる事が予想されることから、牛のように一步一步慎重に審議を重ね、町民の皆さまが安心して暮らすことができるよう、さらに期待される議会を目指していきたいと思っております。

結びに、町民の皆さまにとりまして、この1年が素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

12月会議

12月会議は12月2日、3日の2日間の日程で開催しました。報告1件、条例の一部改正や令和2年度各会計補正予算など、町長提出議案15件を原案どおり可決しました。

一般質問は7人の議員が通告に基づいて質問しました。

一般会計補正予算

※万円未満切り捨て

歳出

小・中学校空調設備工事

929万円

各小・中学校の特別教室について、空調設備を設置し、コロナ禍での教育環境の整備を行う。



主な質疑

**世代館・研修館
運営経費の支出は**

問 世代館・研修館運営経費で、243万円の支出があるが、目的は何か。

答 新型コロナウイルス感染症にかかる交付金を継続支援経費として充てるものである。

若者住宅・高齢者住宅の検討を

問 新たな誘致企業が令和6年から操業開始ということで、若者住宅・高齢者住宅の検討をすべきではないか。

特に、高齢者の一人世帯は町営住宅に入居できないため、入居可能な住宅も検討材料に入れるべきと考えるが。

なぜ予算組み替えを行ったのか

問 農地耕作条件改善事業をなぜこの時期に委託料から工事請負費に変更したのか。

他団体への委託事業なら予算計上時に十分論議すべきであったのではないかと。

答 当初、桑木荒地内に野菜団地の整備を計画し、委託料を計上していたが、委託先が受け入れられないこととなった。

その後、県や涌谷町土地改良区と協議し、砂田前地内の農業用排水施設工事に変更となった。今後の大きな反省材料としていく。

保育委託料は

問 涌谷保育園の現状を見て、それでもなお委託料を支払うのか。保護者への説明がな

いのであれば、町から強く要望するべきではないか。

答 委託料は基準どおり支払うが、保育士の不足などで子どもが入園できない場合には、減額となる。保護者への説明会は県と共に強く要望していく。

**紙おむつ回収事業の
今後は**

問 紙おむつ回収事業の予定はどのようなものか。

答 今後、保護者の要望を聴いて対応する。

議案審議

涌谷都市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

花勝山地区の農業集落排水施設について、公共下水道に編入した場合の受益者負担金の額を従前のとおり、公共ます1個につき20万円とするため、条例の一部改正を行う。

○公営住宅修繕料

100万円

町営八雲住宅の空室となつている部屋の修繕を行う。

○町道維持補修工事

200万円

町道成沢横沢線に係る成沢2号橋の橋梁補修などの工事を行う。

主な質疑

問 受益者負担金の額の変更に伴う当条例の改正は、3月会議で提案しなければならなかったのではないか。

答 まさしくそのとおりである。申し訳なかった。

12月会議採決状況 ○…賛成 ×…反対 議長は採決に加わらない

件名	黒澤朗	涌澤義和	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	伊藤雅一	久勉	杉浦謙一	鈴木英雅	大泉治	大友啓一	後藤洋一
涌谷都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和2年度涌谷町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

12月 第2回 会議

農林業系汚染廃棄物処理に係る防風壁設置工事などの費用が含まれた令和2年度涌谷町一般会計補正予算(第10号)は賛成多数で可決されました。

作業員の安全確保を

問 ユニットハウス内で作業する作業員の安全性はどうなのか。

答 作業員は防護服やマスクなどで安全を確保する。

防護壁の有効性は

問 防護壁の有効性はどうか。また、仮設ユニットハウスは必要なのか。

答 防護壁は高さ3メートルあり、風は防げる。仮設ユニットハウスはあくまで本来設置する予定のテントを建てるまでの暫定である。

なぜ単独処理になったのか

問 当初は美里町と共同処理の予定だったが、なぜ単独処理になったのか。

答 関係法令上、共同処理はできないことが判明したためである。

一括発注しないのか

問 今回の工事は、一括発注する方が効率的ではないか。

答 検討したが、環境省の意見でそれぞれ発注した方が安価ということになった。

討論

賛成

佐々木敏雄議員

放射線の汚染稲わらなどを農家の方々が10年近く保管している。その苦しさ、不安感を思えば早く払拭してもらおうことが先決ではないかと考え、賛成とする。

反対

杉浦謙一議員

強風が吹くような立地場所に稲わらを運ぶのは安全性の面でも問題があると考えている。依然として町民の健康の不安を払拭したわけではないため、町民の健康のために反対する。

12月第2回会議採決状況 ○…賛成 ×…反対 議長は採決に加わらない

件名	黒澤朗	涌澤義和	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	伊藤雅一	久勉	杉浦謙一	鈴木英雅	大泉治	大友啓一	後藤洋一
令和2年度涌谷町一般会計補正予算(第10号)	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	議長

反対

稲葉 定議員

原子力の事故は、いくら費用が掛かっても、やるべきことはやらないと誰も幸せにならない。慎重に対応しなければならない。慎重に反対することから反対とする。

12月会議では、12月2日(水)及び3日(木)に一般質問が行われ、7人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



ズバリ

町政をたがだす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

佐々木 みさ子 議員(6ページ)

- 1 涌谷町における新型コロナウイルスについて

佐々木 敏雄 議員(7ページ)

- 1 令和元年台風19号による被害検証と今後の対策について

久 勉 議員(8ページ)

- 1 籠岳山線の道路を改修すべき

杉浦 謙一 議員(9ページ)

- 1 新型コロナウイルス対策について町の考えは
- 2 日本遺産の取り組みについて考えを聞く

黒澤 朗 議員(10ページ)

- 1 有識者会議での病院に関する事項について

伊藤 雅一 議員(11ページ)

- 1 国保病院に対する繰出金3億8千万円の資金使途について
- 2 有識者会議の意見について

涌澤 義和 議員(12ページ)

- 1 財政再建計画の進捗状況について

佐々木みさ子
議員



問 新型コロナウイルス感染症対策は
十分であったか

答 十分に行ってきたが、
今後も感染症対策に努めていく

問 当町の新型コロナウイルス感染症対策はどのように行われていたか。

また、今後は新型コロナウイルス感染症対策にどう取り組んでいくのか。

町長 町の施設や行事の
実施について、

適宜新型コロナウイルス感染症への対応を行うとともに、関係団体および町民の方へ、国や県の「新型コロナウイルス感染症対策本部」からの通知を周知してきた。

今後は、注意喚起および正しい知識、情報の周知を行い、町管理施設の適切な新型コロナウイルス感染症対策を行っていく。

問 天平の湯での新型コロナウイルス感染症対策は、十分であったか。

町長 感染症対策は
行ってきた。今

後は、入館時における来館者の体温測定や入浴受付の1階への移設のほか、

大広間や小劇場の利用中止など、施設を安心して利用していただけるよう対策を講じる。

問 新型コロナウイルス感染症患者が、天平の湯を利用していただけについて、施設名を公表する必要性はあったのか。

副町長 基本的に利用者
者が特定でき

る場合、公表しないのが県の基準である。

今回は、温泉を利用した方々を特定できなかったため、周知が必要だったことにより公表したと、県から聴いている。

問 新型コロナウイルス感染症の影響による地域経済はどうなのか。町民の暮らしに影響は出ているのか。

町長 年末、年度末に
かけて、事業者

の一部には悪化する要素がある。出勤調整による収入の減や、雇い止めに

より、若干の離職者が生じている。



わくや天平の湯

問

排水路系統の見直しをする時期では

答

※ 国土強靱化計画 策定時に検討する

問

令和元年に発生した台風19号の検証と対策は。

町長

台風19号の被害が大きかった理由は、今までにない記録的豪雨のための内水氾濫である。

今後は、新型コロナウイルス感染症対策も含めた避難所の開設、運営に当たっていく。また、災害時の情報伝



佐々木敏雄
議員

建設課長

国土強靱化計画を

策定する予定であり、内水ハザードマップや浸水区域図の作成を行う。その際に、全体の排水状況などを把握した計画を作成し、それを基に排水路

一般質問

系統の見直しなども検討していきたい。

問

機場のスムーズな運転管理と、機場機関士の安全確保についてはどうなっているのか。

農林振興課長

機場については

関係機関と連絡を密にし、調整を図る。また、機場機関士の安全確保については、ヘル

問

新下町浦の調整池は、浸水や冠水の防止のための施設と考えている地域住民が多いと思われる。避難時間の確保目的の施設であるならば再度住民へ説明をすべきではないか。

上下水道課長

これまでも説明はしていたが、今後も広報などで周知していきたい。



改修が急がれる中江排水路上流部

※国土強靱化計画：強靱な地域をつくりあげるためのプランであり、強靱化に関する事項については、行政全般に関わる既存の総合的な計画に対しても基本的な指針となる。

久

勉
議員



問 麓岳山線の道路を改良すべきではないか

答 各事業と調整を図りながら進めていく

問 定住人口を増やすのは難しいが、交流人口の増加を見込み、麓峯寺を観光資源として活用するためにも、町道麓岳山線の道路改良をすべきではないか。

また、大崎地域広域行政事務組合涌谷斎場は、長寿命化により令和18年まで使用する。利用者の利便性を考慮すると、道路の拡張を行うべきではないか。

町長

質問は以前にもいただいているが、当時は、多額の費用が掛かることから、活用できる制度などを検討し、全体の調査を行って局部改良を進めると回答した。最近では、社会資本整備総合交付金事業により、平成28年度に測量設計、平成29年度および平成30年度に、局部だが改良工事を実施した。その後は財政状況の悪化から進展していないため、今後、各事業と調整を図りながら進めていく。

問 事業についての考え方だが、過去に桜回廊の整備事業があった。当時、必要性や緊急性の有無を踏まえた議論がなされたが、町長の強い意志で実行された。しかし、現在桜が咲いた時に「なぜ桜回廊を作ったのか」と言う人はいない。

そのようなことから、費用は掛かっても、後々整備して良かったと思えるよう、麓岳山線の道路を改良すべきではないか。また、大崎地域広域行政事務組合とは、道路拡張について交渉すべきと思うがどうか。

町長

日本遺産においても、麓峯寺から平泉へと金でつながっていくストーリーとなっていることから、整備は必要だと感じている。大崎地域広域行政事務組合との今後の話し合いの中で、話題として展開していきたい。

問 涌谷斎場の件については、大型バスが通行できるように改良すべきである。町の負担軽減のためにも、大崎地域広域行政事務組合と協議を行うべきではないか。

町長

新しい東部斎場の整備計画では、取付道路の整備を計画している。涌谷斎場の道路についても、協議を行っていききたい。



問 感染症対策事業を
次年度も継続する考えは

答 総合的に検討し
支援策を考えたい

問 県内でも新型コロナウイルスが急増している中で、新型コロナウイルス感染症対策事業を次年度も継続すべきと考える。
特に、水道料金減免や事業所への支援についてはどのように考えているのか。

県内でも新型コロナウイルスが急増している。追加の減免措置は考えていないが、今後の財政支援の状況や住民のニーズを総合的に検討し、適切に判断していく。年末や年度末にかけて、事業者の一部に経済活動が悪化する要素もあるため、次年度の事業所支援は必要であると考え

町長 県内では当町の他に、18自治体が水道料金減免を実施し



杉浦謙一 議員

一般質問

問 日本遺産認定後の取り組みは

答 誘客を図るようPRしていきたい

問 日本遺産の事業PRの仕方について、当町の考えは。

町長 イベントの開催や出店の他、SNSでの動画公開やホームページでのまんが読本の公開など、積極的に取り組んでいる。

当町としては、産金の地として、地理的に仙台市などからの誘客を担う役割が期待される。これらを踏まえ、しっかりとPRしていきたい。

問 日本遺産の看板を町内に設置した効果は。

町長 日本遺産認定の周知を図るため

涌谷駅前と、涌谷公民館前の交差点に設置し、町民バスにはステッカーを貼付している。日本遺産という言葉自体は広く浸透しているが、ストーリー設定や魅力の周知について、まだまだ努力が必要と感じている。



さらなる「日本遺産の町」という魅力の周知が必要

黒澤

朗
議員



問 国保病院の持続可能な
経営体質とは何か

答 状況変化に対応した
経営ができること

問

11月5日に行われた町財政および病院事業に係る有識者会議で、さまざまな意見が出たようであるが、どのような意見が出たのか。
また、それらの意見を町長はどのように受け止めたのか。

町長

一般会計において、財政再建計画の進行により改善は図られるが、留意すべき状態である。

また、人口減少が進む中で、病院経営の健全化を図るためには、今後の病院の機能や規模について検討が必要との意見をいただいた。

この国保病院を将来の世代に引き継いでいくことは、私どもの使命である。有識者会議の意見を真摯に受け止め、町の財政および病院事業の経営改善に向けた検討材料にしたい。

問

国保病院の持続可能な経営体質とは何か。

町長

人口減少により、ますます厳しさを増している町の財源で、将来にわたって地域の皆さまに適切な医療を提供する、さまざまな状況変化に対応した経営と考える。地域に密着した病院として、存続させることが大事である。

今後の有識者会議をはじめ、さまざまな意見を参考にしながら、病院事業管理者と共に協議や検討をしていきたい。



町財政および病院事業に係る有識者会議の様子(令和2年11月5日開催)

伊藤雅一
議員



一般質問

問 繰出金
3億8千万円の使途は

答 企業債の
償還金などである

問 11月5日に行われた町財政および病院事業に係る有識者会議について質問する。

当面の経営対策として、国保病院に対し繰出金が3億8千万円支出されている。この資金の具体的な使途はどのようなのか。

町長 地方公営企業法繰出基準により、一般会計が負担する資金は建設改良に要する

企業債の元利償還金3分の2や不採算地区病院の運営経費、救急医療確保に要する経費など、2億400万円である。

また、繰出基準外としては、建設改良に要する経費の3分の1や応援医師の報酬など、1億7600万円であり、総額で3億8千万円を当初予算で措置したものである。

問 一時貸付金について問う

答 増加しないよう改善に取り組んでいく



国保病院

問 有識者会議において、「病院への一時貸し付けは経営改善がで

町長 現在、病院事業に対する一時貸

付金は4億円に及んでい

る。

一方、一般会計の財政調整基金は、約6億7千万円となっている。一時貸付が毎年度継続的に増加していく状況は、町の財政、病院双方にとって好ましいことではないため、今後一層改善に取り組んでいく。

浦澤義和
議員



問

財政再建計画の進捗状況は

答

達成できなかった項目もあった

問

町で財政再建計画を掲げ、5カ年計画の初年度の効果額などが示された。

しかし、それは町民に負担の掛かるものばかりで、経費や補助金などの削減が主であり、なぜ今まで削減できなかったのかと町民からの声があった。

令和2年度の決算まであと4カ月であり、今後是可以とから実行していくことが重要と考えるが、財政再建計画の進捗状況はどうか。

町長

9月会議で報告したとおりである。各種委託業務の仕様の見直し、定員適正化計画の見直しなど、達成できなかった項目もあった。

問

委託業務について、委託料の高額な事業はどのようなものか。また、それらの更新時の契約状況はどうか。

企画財政課長

委託料の高額な事業としては、町民バス運行業務、スクールバスと通学用バスポート専用バス運行業務などが挙げられる。

また、それらについては更新する際は、一般競争入札となっている。

問

財政再建に最も関わる国保病院について、3月、6月、9月会議で質問をしたが、経営は現状維持で努力するという回答だった。

県内の自治体では、医療体制の見直し計画の策定を始めているが、当町は、町に特化した医療体制に変えるべきと思うがどうか。

町長

地域医療の拠点病院として、維持することを目標にし、有識者会議の委員からの意見を参考に進めていきたい。



常任委員会所管事務調査中間報告

各常任委員会でテーマを設け、令和2年からの1年間で調査した結果を、12月会議で中間報告しました。その主な内容をお知らせします。

総務産業建設 常任委員会

委員長 杉浦謙一
副委員長 稲葉定
委員 大友啓一、大泉治、竹中弘光、涌澤義和

感染症拡大のため、企業との接触機会が減り、黄金山工業団地の誘致も進んでいない。しかし、尾切地区において誘致企業との契約が成立し、今後整備が進んでいく。今後も注視していく。

テーマ

魅力あるまちづくり

調査結果および意見

○財政健全化に向けて

令和元年度の最終効果額合計が、1億9117万7千円と効果が表れている。今後も計画の進捗状況を調査していく。

○産業振興及び

企業誘致の実現

新型コロナウイルス感



避難所における間仕切り (防災訓練より)

○災害から

町民の命を守る

新型コロナウイルス感染症拡大の中、避難場所での対策として3密の回避が求められる。当町では段ボール簡易ベッドや衛生用品を購入しているが、密にならない避難が重要と考える。

教育厚生 常任委員会

委員長 久勉
副委員長 鈴木英雅
委員 伊藤雅一、佐々木みさ子、佐々木敏雄、黒澤朗

テーマ

住みよきまちづくり

調査結果および意見

○財政再建計画の

進捗状況は

財政非常事態宣言から3年目となるが、計画を変更すべきである。

特に、計画書の年次別財政予測（再建計画を考慮しない場合）が不明確であり、当初計画に狂いを生じさせているのではないか。

○学力の向上に向けて

生徒の学力を測る指標として、学力テストの結果を公開すべきである。

委員会報告

今後、GIGAスクール事業に期待するが、教員の研修が重要である。

○病院事業中期経営計画の進行管理は

財政非常事態宣言で、院内での論議が活発にされたことは評価する。

監査委員の令和元年度決算審査報告書にもあるが、病院会計の一時借入金へ翌年度において他会計繰入金を充当し、一般会計出納閉鎖期までに返済する処理については、町長部局、特に企画財政課の対応に疑問が残る。

○介護予防と認知症対策

要介護認定を受けた町民の数が、他市町村と比較すると人口の割に少ないことは、健康づくりなど予防活動の表れと思われる。

認知症対策としては、国民健康保険の基金を活用した脳ドッグなどの検討をすべきである。

広報広聴 常任委員会

委員長 佐々木みさ子
副委員長 稲葉定
委員 全議員 (議長は除く)

広報分科会

「議会だよりわくや」の第200号から第203号まで編集発行を行った。

広報研究会にも積極的に参加し、読まれる広報を目指して研鑽を積んだ。

広聴分科会

令和2年の活動予定として、議会懇談会などを予定していた。しかし、懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

10月 会議

〈主な10月補正予算〉

(歳入)

・放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金 …………… 599万円

(歳出)

・放射能汚染廃棄物対策経費工事請負費 …………… 1,228万円

・涌谷中学校柔剣道場雪止設置工事…………… 24万円

※議会だよりに掲載している事業費については、万円未満を切り捨てて表示しています。

(令和2年10月21日 開催)

令和2年度一般会計補正予算は、採決の結果、同数となり、投票においても同数となったため、議長の判断により可決されました。

質疑

事前調査は

問

国が定める8千ベクレル以下の放射線汚染廃棄物は安全であり、今回の焼却もその範囲で行うとのことだが、焼却前の事前調査は行ったのか。

答

放射線の濃度については、平成28年に全て調査を行い、安全性を確認している。

焼却計画の協議は

問

汚染廃棄物の令和8年度までの焼却計画だが、年度により処理数量にばらつきがあ

る。大崎市、美里町および処理場と協議して決めたのか。

答

令和2年度までは協議して計画している。令和3年度以降についても協議し、令和8年度までに終了させる。

仮設の

前処理施設の計画は

問

仮設の前処理施設を作るといふ新しい計画が出てきたが、決定したのは誰か。

また、本来設置する予定の処理テナントの事業費はいくらか。

答

本来設置する予定の施設では焼却の期限が間に合わないため、仮設とした。1市2町と大崎地域広域行政事務組合の話合いで決定した。

本来設置する予定のテナントは3千万円程度で、次年度の10月頃に完成予定である。

10月 会議

焼却に係る

近隣市町村との連携は

問

美里町、涌谷町の焼却が開始されると大崎市の分はどうなるのか。

また、町有地の牧草の保管賠償金や保証金があるのに、民有地での保管に対してはなぜないのか。

答

美里町、涌谷町が開始すると大崎市の分はなくなる。賠償金について、涌谷町では管理を農業公社に委託しているため、その分を請求している。民有地分については、まだ損害額が確定していないので請求していない。

換気扇の安全性は

問

汚染稲わらの処理作業を行う建物に設置する換気扇は、特殊な仕様となっているはずだが、今回の補正金額で購入できるのか。安全対策に落ち度はないか。

答

今後検討していく。安全を最優先で進める。

討論

反対

杉浦謙一議員

現在、大崎地域広域行政事務組合と大崎市の市民団体の間で、放射能汚染廃棄物の焼却の差し止めに関する裁判を行っている。その結果を待たなければならぬのではないか。

今回の仮設前処理施設建設費に至っては、次年度に約3千万円の本格施設を建設する計画であり、国費とはいえ、もともとは税金から支出されている。

低線量被ばくを心配する町民や今後の子どもの健康被害を考えれば、受け入れがたいものと考え、反対する。

反対
稲葉 定議員

なぜ、放射能の危険性を分かっているながら、汚染廃棄物を焼却して大気中に微量とはいえ、それを含んだ煙を放出しなければならぬのか。

焼却灰の処理についても、埋め立てを行う場所の反対を押し切る形で進めた大崎地域広域行政事務組合にも納得がいかない。

焼却しない処理方法もあるのに目もくれない。このような進め方には反対である。



汚染廃棄物の焼却を行う
大崎広域東部クリーンセンター

12月会議採決状況 ○…賛成 ×…反対 議長は採決に加わらない

件名	黒澤朗	涌澤義和	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	伊藤雅一	久勉	杉浦謙一	鈴木英雅	大泉治	大友啓一	後藤洋一
令和2年度涌谷町 一般会計補正予算(第8号)	×	×	○	欠席	○	×	○	×	×	○	○	欠席	議長

**賛成・反対同数のため
投票を行った結果**

賛成・反対同数のため、議長裁決により可決されました。

11月会議
(令和2年11月26日 開催)

11月会議は議案3件を原案どおり可決しました。人事院勧告に基づき、特別職、一般職および会計年度任用職員の特別給(ボーナス)を引き下げるものです。

議員発議

涌谷町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院勧告により、「特別職の職員の給与に関する法律等」の一部を改正する条例が施行されるため改正する。

皆さんの請願・陳情

令和2年陳情第3号
「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について

令和2年陳情第4号
「看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

令和2年陳情第5号
「介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

令和2年陳情第6号
「介護従事者の勤務環境および処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書の提出について

宮城県
医療労働組合連合会
執行委員長 中山 修

審査の結果
(3号〜6号)
教育厚生常任委員会付託となりました。

令和2年陳情第7号
水田農業対策に関する要請書

陳情者
新みやぎ農業協同組合
代表理事組合長 大坪 輝夫

審査の結果
配布となりました。

令和2年陳情第8号
女川原発再稼働を認める宮城県決議の撤回を求める陳情書

陳情者
代表 浅利 志津子
他16人

審査の結果
配布となりました。

11月議会

議会に皆さんの
ご意見をお寄せください

キラキラ Voice Vol.15



高橋 賢一さん(小里区)

Q あなたのことを教えてください。

A 小里地区で精密金型部品加工業を営んでいます。令和元年5月から加工業を立ち上げ、やりがいと責任を感じながら日々業務に取り組んでいます。

Q 議会についてどう思いますか。

A 町民がより良い生活を送ることができるよう、さまざまな意見に耳を傾け反映し、スピード感を重視した議論を進めていただきたいです。

Q 浦谷町をどういう町にしたいですか。

A 将来を担う世代の方々が、住んで良かったと思える町になることを望みます。私自身も微力ではありますが、できることを通じて協力していきたいと思えます。

議会から お忙しいところ、議会だよりへのご意見ありがとうございます。
高橋さんは大崎市古川から通いながら、小里地区で熱心に仕事に励んでいます。議会も10年、20年先を見据えて日々活動しております。できることから頑張っていきますので、浦谷町外からの大所高所の視点でご意見をいただければ幸いです。
コロナ禍の中での仕事は大変だと思いますが、今後ともご協力をお願いいたします。

浦谷町議会定例会を 動画配信しています。



当議会では、定例会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。
また、議員ごとの一般質問の内容も動画配信しており、右上のQRコードでご覧いただけます。

**議会を
傍聴しませんか**
次回の定例会は
3月上旬頃
開催予定です
詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせいたします。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。
☎43-2127

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 稲葉 定 |
| 副委員長 | 稲葉 啓 |
| 委員 | 黒澤 友 |
| 委員 | 伊藤 久 |
| 委員 | 藤原 義 |
| 委員 | 澤田 和 |

編集 広報広聴常任委員会
広報分科会
(稲葉)

昨年、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされた一年でした。経験のない未知のウイルスへの対処方法が確立されず、対策を尽くすのみでした。終息はまだ見えませんが、もうしばらく辛抱の時間が続きそうです。
また、昨年末の大雪も我々の今後の生き方に大きな警鐘を鳴らしているのかもしれない。しかし、明けぬ夜はないと言われている。きっと来る春の息吹と明るい日差しを待ちたいと思えます。

